

資料提供
令和5年12月5日
課名 新型コロナウイルス感染症対策担当
(感染症・疾病管理センター)
担当者 西川
電話(直通) 082-513-3068
(内線) 3068

ノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生について

令和5年11月29日(水)県内医療機関より、県東部保健所管内の学校の寮生で嘔吐・下痢等症状を有する者が9名受診している旨の連絡がありました。その後、施設への聞取調査及び県立総合技術研究所保健環境センターでの検査を実施した結果、ノロウイルスによる集団感染であることが判明しました。

県内(広島市、呉市及び福山市を含む。)で、今シーズン初めてのノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生となります。

同感染症の集団発生は、例年よりも少ない状況です。

秋から冬にかけて多く発生するウイルスによる感染性胃腸炎(接触感染)の予防対策とともに、体調不良時には施設利用を控える等、適切な対応について、改めて啓発いただくようお願いします。

1 ウイルスによる感染性胃腸炎の予防対策

- | | |
|------------|--|
| (1) 手洗いの励行 | 帰宅時、トイレの後、調理・食事の前に必ず石けんで手を洗いましょう。 |
| (2) 吐物等処理 | 吐物、便で汚れたものは、手袋を使って処理し、汚染箇所は次亜塩素酸ナトリウムで消毒しましょう。 |
| (3) 入浴 | 下痢のある時は、シャワーだけにするか、入浴する順番を最後にし、お尻は石けんをつけて、ていねいに洗いましょう。 |
| (4) 食品の取扱い | 食品は、衛生的に取り扱い、十分に加熱調理しましょう。 |
| (5) その他 | 吐いたり、下痢のある時は、他の人とタオルなどの共用を避けましょう。 |

2 保健所の対応

施設調査、二次感染防止指導、原因究明の実施

3 今シーズン初発事例の概要(12月4日時点)

施設種類等	東部保健所管内の学校の寮(尾道市)
利用者数等	42名(生徒39名、職員3名)
有症者数	24名(生徒24名、職員0名)
主症状	嘔吐、下痢、発熱(重症者、入院者なし)
原因物質	ノロウイルス 5名確定

4 ノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生件数(県全体)

区分	令和5年度*	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
施設数	3	48	52	37	62
有症者数	76名	1,593名	1,425名	1,214名	1,672名

※12月4日現在(上記初発事例を含む。)

お願い

報道機関各位におかれましては、感染者及び感染者家族等について、本人等が特定されることのないよう、格段の御配慮をお願いします。